

指定管理施設事業評価票(平成29年度分)

1. 施設所管課 観光部 栗山観光課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市平家の里		
	所在地	日光市湯西川1042番地外		
指定管理者	名称	平家の里湯西川協同組合		
	代表者名	組合長 山城晃一		
	住所	日光市湯西川1042		
指定期間	平成28年4月1日	～	平成33年3月31日	5年間
選定方法	非公募	評価実施年	5年間のうち2年目	
施設設置目的	地域における農林業の振興と、地域の活性化を図り、魅力ある観光資源の開発に資するため			
主な実施事業	資料館、展示館			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	入場者数	人	66,500	77,993	66,500	71,400					
b											
c											
d											
e											

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
収入計 A	47,329,908	45,678,622	0	0	0
指定管理料					
利用料収入 C	25,968,066	28,677,796			
自主事業収入	10,361,170	0			
その他	11,000,672	17,000,826			
支出計 B	43,325,439	43,233,548	0	0	0
指定事業費	43,325,439	43,233,548			
内人件費 D	14,840,558	16,067,214			
内外部委託費 E					
自主事業費					
事業収支 A-B	4,004,469	2,445,074	0	0	0
人件費率 D/B	34.25%	37.16%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	0.00%	0.00%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	
------	--

サービス改善の状況

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B C C	B B C
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B B	B B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B B	B C
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B B	B B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A A	B B
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B B	B B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	C C C	C C B
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】		B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	A C	B C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B B B	B B B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	C B B	B B B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B B B B	B B B B
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B B	B B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	C
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	B
総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】		B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】		B	B
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されていなかった。利用者に対しての設備、備品等を適切に提供できた。			
所見 (成果・課題等)	(所管課評価)			
	利用者は、目標を7.3%上回っているが、収入全体で3.5%減少している。施設も老朽化しており、展示内容も新鮮さが感じられなくなっている。 日光市では施設の改修計画をしているので、自主事業等の充実などにより、さらなる収入の増加に努めてもらいたい。			
別添反転口評 ※反転評価	C		総合評価 ※3段階評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上		
	B(良好) = A、C以外		
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上		